行政視察報告書　　総務文教委員会　　　2017年8月4日(金)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 総務省行政管理局 |
| 研修テーマ（調査項目） | 働き方改革 |
| 1. 取組の内容評価

・省内の5階と6階をフリースペースとして、ペーパーレスをほぼ達成・デスクは全て120センチ四方の移動可能型とした統一規格。椅子も標準化・机には引き出しを作らない、キャビネット類は部屋の外側へ・管理職のデスクは窓際に移す・パソコン一つで無線化達成する。・こうした取り組みでほぼペーパーレスを達成（完全達成にはならない）・机の上に電話がない。PHS持参で仕事をしている状況・職員のロッカーも特殊化。ロッカー内でパソコンの充電ができるようにする。個々の職員宛の文書は、各ロッカーが個々のポストも兼ねるなど（ロッカーに投函用の穴をあける）アナログ的な工夫も随所に・コピー機のセキュリティー化。電子データで管理している。決裁も電子決済とされている1. 今後の課題

・予算1000万で達成したと言っていたが、これまでの蓄積があっての話であろう。ソフト面の対策以外にもハード面（職員がつかいこなせるようになるまで）相当の苦労があると思う1. 本市に反映できると思われる点

・本議会タブレット導入の理由「ペーパーレス化」は結局はそうならないが、タブレットが議場以外でも活用できる点を活かし、現在のシステムのアプリ化などで議員が使いやすいものにする努力が必要。・会議室の確保の手間が確実に減り、若い職員の業務量削減につながった。1. その他
 |